

2023年度 自己点検・自己評価(結果表)

幼保連携型認定こども園 朝日幼稚園

園長 山下 瑞音

今年度の自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上ならびにこども園運営の資質向上につとめてまいります。

実施日	令和5年11月30日
対象職員	人数
主幹保育教諭	2名
保育教諭	4名
事務	1名
計	7名

A：たいへんよい
 B：よい
 C：一部検討を要する
 D：改善を要する
 回答なし

【1】保育目標・計画・実践に関する評価

No.1

項目	内容	A	B	C	D	回答なし	意見・改善策
保育目標について	(1) 保育目標の具体化に向け、幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○				<ul style="list-style-type: none"> ・目標と幼児の実態が繋がっていない。毎日の保育の振り返りを強化したい。 ・全職員で情報共有ができていない部分がある。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○				
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○				
保育について	(1) 指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。		○				<ul style="list-style-type: none"> ・保育中の環境(安全面)の意識を持たなければならない。 ・行事に対して準備が遅い。 ・教材について子どもたちが自由に使えることを大切にしながら無駄使いをしないよう声掛けや環境作りを考えていきたい。
	(2) 幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。		○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。			○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。			○			
日時程	(1) 一日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。			○			・安全についての項目を追加する。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○				<ul style="list-style-type: none"> ・行事の行程について計画段階から職員で意見を出し合い、見直しも必要と思う。 ・行事が多いと感じる。日々の活動に影響する。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○				
	(3) 幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				

【2】保育を支える学校運営に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	回答なし	意見・改善策	
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。			○			<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育、預かり保育時の安心して子どもたちを保育できる職員体制の構築が必要。 ・事務の分担がうまくできず一人の職員に負担がかかっている。 ・職員が不足しているときがある。
		(2)職務内容が明確で、協議できる体制になっているか。		○				
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○				
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○				
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○				<ul style="list-style-type: none"> ・報・連・相の徹底。(連絡ノート、朝の会での連絡の周知)
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○				
		(3)打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。			○			
	年齢別・クラス運営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○				<ul style="list-style-type: none"> 行事前の準備等できていない。
		(2)年齢別・クラス目標は、幼児の実態に即して設定しているか。		○				
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○				
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○					
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○				
		(6)評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○				
	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○				<ul style="list-style-type: none"> 安全管理を徹底するための学びは継続しなければならない。
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○					
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○				
		(4)幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○				
	研究・研修	園内研究・研修	(1)研究主題は、園目標の具体化につながるものであるか。		○			<ul style="list-style-type: none"> 処遇改善手当のための研修の参加が多く、もっと他に学びたいことへの研修の参加も行ってもらいたい。
(2)園内研修の計画・運営は適切か。				○				
(3)研究の成果を日常の保育に生かし、幼児の育ちに反映させているか。				○				
(4)研究の実践による幼児理解が深まりを見せているか。				○				
園外研究・研修		(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態度の充実を図っているか。		○				
		(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○				

項目	内容	A	B	C	D	回答なし	意見・改善策	
情報について	(1) 幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○				・提出物の〆切の徹底等、意識改革が必要。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○						
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。			○				
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○				・不審者対応の避難訓練の実施(園庭遊びも含めて) ・通風口、門扉の施錠の徹底	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○					
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。			○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○						
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○						
開かれた園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、園目標や課題に添ったものになっているか。				○	・小学校との連携は園児が不安になることもあり、学校側に意見を伝えた。交流に参加するのはどうしても年長クラス担任のみとなる。 ・公開保育に参加することでいろいろな保育を見ることができて勉強になる。	
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○					
		(3) 指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○				
		(4) 参観や保育・授業などに参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○				
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。						○
	家庭・地域社会との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○				・コロナ明け、これから充実していく。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は、適切か。					○	
		(3) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。					○	
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。					○	
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○					・保育を重視すると、(2)と(3)の取り組みは難しいのでは？園児に負担ではないか？
		(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○					
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○				
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○				
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○				
	情報の発信	(1) 園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○					・周知は様々な方法で行っている。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○					
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。					○	将来的に第三者評価を受診するがまずは関係者評価を充実させる。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○				

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生管理は主に担任が責任をもって取り組んでいるが慣れによるものや突発的な事象にも備えて園全体として取り組んでいかなければならない。 ・おひさまひろばは運動会などの大きな行事の前は日時・内容・担当を考慮して現場の保育が充実・優先されるよう配慮してもらいたい。 ・安全管理に力を入れてきたが保育の中での子どもの安全に対する認識の甘さが見られる。大きな事故につながらないよう今後職員間で研修を行っていきたい。 ・担任の「保育のねらい」について日、週単位ではなく月→学期→年間と計画することの必要性を感じる。 ・チーム保育も大切であるが、担任個人の力をつけていくことも必要。
<p>総評</p>	<p>幼稚園からこども園に移行して4年が過ぎ、当園はこども園としての姿を整える段階から、地域で最も優れたこども園を目指すべき段階へと至っているというべきである。すなわち、職員の働きやすい環境や一人ひとりを尊重する保育の確立などは当然として、今後は安全管理の徹底・職員間での知識やスキルの共有・保育の妥当性の検証などが行われなければならない。そのためにまずは研修によって職員のスキルアップを行い、週案月案をはじめとする報告書を活用することで、当園全体の経験値の向上をつとめてゆきたい。</p>